



第3、4号では公立高校について紹介しました。今号では「私立高校」の仕組みと、公立との違いをまとめます。

■ 私立高校ならではの特徴

<p>◆ 独自の教育方針・校風</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとの「色」が強く、雰囲気が個性的 	<p>◆ 教育課程の独自性・サポート充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース別授業で習熟度に合わせた授業 ・補習授業や放課後指導が充実 ・きめ細かい進路指導で就職・大学進学を支援
<p>◆ 特待生制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦受験が可能 ・学力・運動技能に優れた生徒には授業料・入学金の免除制度がある学校も 	<p>◆ 高校・大学の一貫教育制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系列大学に進学できる附属校がある学校も

■ 私立高校の入試には3つの種類がある

種別	時期	ポイント
単願推薦 (A 推薦)	12 月出願 1 月中旬頃受験	第一志望が私立の人向け。合格したら入学が条件。
併願推薦 (B 推薦)	12 月出願 1 月中旬頃受験	公立高校と併願できる。第一希望の他に推薦入試が受けられる。
一般入試	12 月出願 1 月下旬頃受験	推薦基準に届かない場合でも受験できる。当日の実力勝負。

◆ 推薦を考えている人へ (第1号でも触れました)

推薦を受けるには、各高校が定める「内申点の基準」を満たす必要があります。基準に使われる成績：3年生の1学期末・2学期末（または前期・後期）の評定→今の成績が直接影響します。気になる私立がある人は早めに担任に相談を！

■ 費用について

費用項目	公立高校	私立高校 (目安)	備考
入学金	全日制：5650 円 定時制：2100 円 通信制：500 円	約 15 万円	※私立高校の費用については、千葉県私立高校の平均の値になります。金額は学校によって異なります。 文部科学省：私立高等学校（全日制）の初年度授業料等について（令和6年度）千葉県参照
授業料 (年間)	約 11.9 万円 (R8 年度から所得制限無しで無償化)	約 38 万円	
施設設備費等	無し。ただし、冷暖房費として年間数千円～数万円程度の費用がかかる。	約 23 万円	
国や県の補助	公立・私立関係なく高等学校就学支援金が受けられます。		支給上限 (所得上限無し) 公立高校 (全日制)：約 11.9 万円 私立高校 (全日制)：約 45.7 万円 私立高校 (通信制)：約 33.7 万円

※ 上記は令和8年度の目安です。詳細は各校・千葉県教育委員会 HP でご確認ください。

◆ 大切なこと

私立高校は、公立高校と違って各学校独自の入試スタイルをとっています。受験校を決める際は、自分の適性や学校の特徴をよく理解した上で決定することが大切です。

→ 体験入学で実際に見て、「自分に合うか」を確かめてから判断しましょう。

■ 公立 vs 私立 — こんな違いがある

▲ 公立高校

- ・ 様々な費用が安い
- ・ 学区内の学校が基本（普通科）
- ・ 入試は内申＋当日試験（2月）
- ・ 普通科以外の学科が充実

★ 私立高校

- ・ 推薦で早めに進路を確定できる
- ・ 学区に関係なく受験できる
- ・ 特進・進学など複数のコースがある
- ・ 設備が充実している
- ・ 手厚いサポート・少人数授業が多い

□ 今週やってみること

- 気になる私立高校のホームページで「入試情報」ページを見してみる
- 単願・併願・一般のどれが自分に合いそうか考えてみる
- 進路室にある私立高校のパンフレットを手にとってみる

質問・相談などありましたら、進路担当深澤まで